

職員による自己評価

A 環境面

- ・ 十分な支援スペースの確保はできている。
- ・ 人員配置 2:1 で対応。
- ・ 床に転倒した時などの為に、ジョイントマットを使用し、安全面に配慮している。

・

B 児童への支援内容

- ・ 職員間でのミーティングで検討を重ね、一人一人利用者に合った支援が出来る様に日々、話し合いを行なっている。

C 関係機関との連携

- ・ 近隣の事業所と児童の情報交換や会議への参加も出来ている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・ 送迎時、日々の様子や今後の予定などをお伝えしている。
- ・ 外出企画などイベントを行なった後は、必ず写真通信をご家族宛に配布している。
- ・ 利用者様に何か変化があれば、保護者へ連絡し、報告している。
- ・ 保護者の方同士、交流出来る企画も開催している

E 非常対応

- ・ 十分とは言えないが、避難訓練や災害を想定した移動手段の検討を行っている。

保護者による評価

A 環境面

- ・ 現在は十分だが子どもの成長とともに、人数が現在より多くなってしまったら少し狭いと思う。

- ・ 人員配置については、利用者に対して十分なスタッフが必ず配置されてるので、満足し、安心できている。

- ・ 子供が慣れてきた頃に、スタッフの入れ替わりがあるので、少し残念に思う。

B 児童への支援内容

- ・ 学校が休校日の日の外出など子どもが楽しめる活動を考えてくれている。

- ・ 個別支援計画面談で日々の様子も含めて、分かりやすく話をしてくれている。

C 事業所からの情報発信

- ・ 送迎時に子どもの様子や活動内容を詳しく報告してくれている。

- ・ 保護者の方同士交流持てる企画も、開催してくれてるので、他の保護者の方とも交流とれて嬉しく思う。

D 非常対応

- ・ 子どもに変化があれば、すぐに連絡をし、報告してくれている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 日々の送迎時に利用者の様子や活動内容の報告をすることで、参加時の様子を知る事ができている。
- ・ 個人面談の時など、日々の様子や、今後の支援内容について、分かりやすく説明し、保護者と話し合いながら内容を決めているので、一人一人に合った支援が出来ている。
- ・ イベント企画を行った後は、必ず写真通信を配布しているので、写真でその日の活動内容や、利用者の様子を確認できるので、安心して預ける事が出来ている。
- ・ 人員配置もしっかり出来ているので、安心出来ている。

【相違点】

- ・ 支援スペースの広さは現在では十分だが、今後子どもの人数が増えた時や、成長した時には狭いのではないかと。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ご家族とのコミュニケーションや信頼関係
- ・一人、一人にあった個人支援が出来ている
- ・休校日の外出企画を通して、利用者が楽しみながら、同時に社会性なども学び、伸ばすことが出来る
- ・人員配置もしっかり出来ているので、利用者・保護者の方も安心して、サービスを受ける事が出来る
- ・定期的なお便りも発行しているので、日々の様子を写真などで確認できるので、安心出来る。

事業所の改善点

- ・利用者の人数が増えた時や成長してきた時の支援スペースの確保
- ・保護者交流会の検討
- ・人員配置はしっかり出来ているが、スタッフの入れ替わりが激しいので、慣れてきた頃に辞めてしまう事が多い。

事業所の改善への取り組み

- ・定期的な災害時の広報を発行していく
- ・定期的に避難訓練も行い、利用者・保護者の方共に、災害があった時にスムーズに避難出来る様にしていく
- ・支援のスペースのレイアウトを変更

～自己評価を行った事業所としての感想など～

今回の自己評価を行った事で、利用者一人一人に合った支援が出来、同時に保護者の方ともしっかり連携取れているので、保護者の方も安心して預けられ、満足な支援出来ている事が分かって嬉しく思います。不十分な点は、職員間で話し合いをして改善していき、今よりより良い支援をしていけるようにしていきたいと思います。

事業所名 フレンズ鶴ヶ峰

担当者 岡田 一範